

「どさ、いぐなやっす？」ひと声運動

声のかけ方ポイント

1. まずは、様子を確認しましょう。

↓なんか気がかり…

2. 声をかけてみましょう。

※認知症の方は、道に迷っていることを人に知られたくないと思っていたり、自分でなんとかしようと一生懸命でいたりする場合もあるため、会話は何事もないような受け答えをする可能性もあります。声をかけながら、様子も確認しましょう。

ステップ1: まずは軽いあいさつ

(例)「こんにちは～」、「いい天気だなっす」

↓様子がやっぱり気がかり…

ステップ2: 徘徊や迷子になっていないか状況の確認

(例)「どっから、ござたなやっす?」、「どさ、いぐなやっす?」

↓様子がどうもおかしい…

ステップ3: 本人情報確認の質問

(例)「家はどごやっす?」、「名前教えてくださいませんか?」

↓この様子、このままにしておけない!

3. 警察署への連絡などの対応をしましょう。

- ①まずは、本人を安全な場所で休ませてあげましょう。
- ②本人の話などから連絡先の情報が分かったときは、連絡してあげましょう。
- ③分からなかったときは、警察署に連絡し助けを求めましょう。

もしも…、声をかけた相手が、はいかい(認知症)の心配がない方だった場合は、
「気づけでなっすっ」、「ご苦労様だなっす」など、
明るくあいさつをかわしましょう。

寒河江市地域福祉計画の基本理念は、

“互いに声かけ支えあう 笑顔あふれるまち寒河江”です。

その取り組みへのご協力もお願いします。

